

令和7年8月19日

鳥取県知事定例記者会見

9月補正予算案の編成

関税・物価高・農業対策に係る最近の国の動き

関税	15%の米国相互関税発動（8/7）→自動車関税の15%へ引下を含む大統領令修正へ
物価高	ガソリン価格抑制支援の継続（5/22から暫定税率の取扱が決定するまで）
最低賃金	厚労省審議会は鳥取県64円引上目安（8/4）→鳥取県地方最低賃金審議会が過去最大の73円引上（1,030円）（8/8）
農業	農業経営の大規模化・スマート化の推進、付加価値向上に取り組み、コメ増産に転換することを石破総理が表明（8/5）

◆米国関税対策「日米関税合意対応パッケージ」

➡相互関税15%発動を踏まえ、**関税対策を支援するため、資金の調達円滑化、多様な外需獲得の加速、関税影響克服への投資促進**の対策を発動

1. 関税対策資金の調達円滑化【52百万円】

- 拡充** 地域経済変動対策資金を再編、売上減少が見込まれる事業者も融資対象とする要件緩和を行うとともに、140億円に枠拡大（利率：1.63%、市町村協調により3年間最大無利子化）
- 拡充** 米国関税対応特別需要資金を拡充し、対象事業者を米国へ輸出を行う県内事業者に拡大するとともに60億円に枠拡大（5年目まで利率：1.0%、保証料0%）

2. 多様な外需獲得の加速【33百万円】

- 新** 海外邦人ビジネスマンや外国人キーパーソンを「海外よろずビジネスサポート駐在員」として配置し、新たなパートナー企業の提案や同行支援等を実施
- 新** 米国に代わり更なる販路拡大が見込まれる**欧州の海外市場**に向け、日本酒等をはじめとした県産品のプロモーションを強化
- 拡充** **新たな販路開拓、サプライチェーン再構築**に向け、計画段階から商品試作等までの取組を一貫支援（補助率：1/2、上限4,000千円）

3. 関税影響克服への投資促進【100百万円】

- 拡充** 米国高関税業種対策緊急支援補助金の対象業種を米国へ輸出を行う県内製造業者に拡大（補助率：1/2、上限5,000千円）
- 緩和** 米国関税の影響を受ける県内企業の大型投資支援（産業未来共創補助金）の要件を緩和
＜雇用増又は雇用維持＋付加価値増⇒雇用維持のみ＞

◆物価高対策

低所得者や多子世帯等への経済的支援【160百万円】

・市町村が助成する金額の1/2（1世帯当たり8,000円基準）

県立特別支援学校等の給食費支援【7百万円】

・食材費の価格高騰分を県が負担し、保護者の負担を軽減

令和6年度決算の概要 ～財政誘導目標を堅持～

財政誘導目標を堅持

財政調整型基金残高：275億円 ≥ 200億円
地方債残高（臨財債等除き）：3,533億円 ≤ 3,800億円

実質収支：65億円

財政指標及び財政健全判断比率は、前年並みの水準を堅持

経常収支比率 88.2%（R5:87.5%（全国4位））
実質公債費比率 9.5%（R5:9.3%（全国10位））
将来負担比率 132.8%（R5:131.4%（全国12位））

最低賃金1,030円下での持続的な賃上げ環境整備

9月補正:100百万円

県内の渇水・大雨

33百万円見込み

◆生産性向上に向けた事業者の取組支援

賃上げ企業の設備投資、人材育成等支援【100百万円】

【一般型】補助率：1/2～3/4（小規模事業や5%以上の賃上げを手厚く支援）

上限：従業員数に応じて最大5,000千円

【大規模成長投資型】補助率：1/2、上限額15,000千円

◆事業者・県民への集中的な広報・啓発

・新聞折込チラシによる周知 ・賃上げ・価格転嫁等をテーマとした経済フォーラム(9/5)

・9月の「価格交渉促進月間」にTV・新聞等で価格適正化をPR

→今後、国の予算措置等をふまえ、支援策の強化も検討

○大雨等農林水産被害対策【既定予算で対応・28百万円見込み】

・鳥取市、日南町で水田の法面が崩落、国の災害復旧事業（激甚災害指定を視野）により復旧予定

・伯耆町の水田法面崩落については、しっかり守る農林基盤交付金により復旧予定

○土地改良区等が管理するポンプ等の電気料金高騰分を支援【9月補正・5百万円】

○県内の渇水状況

・千代川、天神川、日野川では取水制限解除

・菅沢ダム貯水率も平年並みに回復（8月17日 46.8%）

・農業用ポンプ給水を休止し、概ね、通常取水に回復



点字ブロック改修緊急プロジェクト

9月補正:14百万円

○10月10日（目の愛護デー）に当事者団体と共に公共施設・道路の点字ブロックを一斉点検し、確認された不具合箇所を改修・修繕【県事業部分は年度内に実施】

○民間施設の自主的な点検による修繕に対する補助制度を創設（市町村との協調補助）

【対象者】点字ブロックを敷設している県内の民間施設の設置者

【対象経費】県で作成したチェックリストによる自主点検→不具合箇所の修繕等

【補助率】1/2（県1/4、市町村1/4） 【県補助上限額】1箇所あたり12.5万円

○あいサポート運動と連動し、県民の点字ブロックに対する意識醸成を目的とした新聞広告等

・8月下旬 点字ブロック連携会議（一斉点検、広報など協議）

・10月10日 点字ブロック一斉点検

・R7年度中 点検結果に基づく県管理施設・道路の不具合改修（国、市町村、民間についてはできる限りの改修を依頼）



<ブロック損傷>



<曲線配置>

コメ増産・畜産等支援対策

9月補正:90百万円

米の生産力増強支援【50百万円】

昨夏の「令和のコメ騒動」や米価の上昇等を踏まえ、コメ増産意欲のある多様な農業者の更なる作付拡大に必要な機械導入を支援

【対象者】水稻作付面積（主食用）を令和8年度までに20%以上拡大する農業者

【補助率】県1/3、市町村1/6

【補助対象経費】低コスト化に必要な機械導入（トラクター、コンバイン、ドローン等）

畜産農家の輸入飼料高止まりへの支援【31百万円】

【対象者】酪農家、養鶏農家、肉牛・養豚農家

【補助率】飼料高騰分の1/3～1/2

和子牛価格の回復遅れへの支援【9百万円】

【対象者】県内和牛繁殖農家（（公社）鳥取県畜産推進機構を經由して交付）

【補助率】価格下落分の3/4

8/21 参議院合区解消に係る要請活動(全国知事会)

民主主義のユニットとして各県から代表を選ぶ選挙制度を！

参院選挙における合区の解消に関する決議

- 合区導入前と比べると低い投票率
H25 R7
鳥取県 58.88%(3位) → 55.04%(41位)
徳島県 49.29%(44位) → 50.48%(参院選過去3回連続47位)
- 白票の数も増加
H25 R7
鳥取県 3,277票 → 4,704票
徳島県 3,927票 → 6,408票
- 十分な国民的議論のもとでの憲法改正等の抜本的な対応による「合区の確実な解消」を強く求める

伊原木岡山県知事・合区対象県とともに、衆参両院議長、政党等へ要請活動を実施

8/26 中四国サミット

- 中四国各県の知事と経済界代表者(中国、四国経済連合会)が一堂に会し、「防災・減災」「地域交通の整備・充実」「東京一極集中の是正」等について意見交換

9/3 中国地方知事会議

- 知事と経済界で構成する「中国地域発展推進会議」をベースに、新たな組織として「中国地域広域リージョン連携プラットフォーム」(仮称)を設置予定
→ 産業政策や観光など地域の成長に繋がる施策を面的に展開
- 「地方創生2.0」「米国関税措置」「賃上げ、物価高対策」「公明・適正な選挙」等について知事により意見交換

ちいわか総選挙の実施

- 政治・選挙への無関心、若者の投票率低下が深刻化(R6衆=全体:58.10% 18,19歳:37.26%)
- 投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会(R5)、発達段階に応じ早期の選挙体験が重要
⇒ **教材開発し今秋初実施**

対象 県内の小学校6年生・中学校3年生

投票期間 小学校:9/1(月)~9/30(火)
中学校:9/1(月)~11/28(金)

総選挙の流れ

①政治・選挙の学習

・各学校の授業の中で実施

②投票テーマの学習

・ちいわか総選挙公報で投票テーマとなる地域課題や県施策について学び、意見交換

③オンライン投票

・児童生徒のタブレットを活用

投票結果を県施策等に反映

⇒身近な地域課題等について考え、一票を投じる体験を通じ、若者の政治的有効性感覚を養い、**積極的な政治参加を促進**

投票テーマ

小6

3人目『青谷弥生人』の名前

最多得票を得たものを
3人目の名前に決定

A:青谷 穂波(ほなみ) B:青谷 瑞穂(みずほ) C:青谷 潮音(しおね) D:青谷 琴海(ことみ)

中3

若者が求める県立美術館の『オープンネス』の取組

A:誰もが安心して楽しめる美術館
B:誰もが使える、開かれた場所としての美術館
C:地域とつながり、県全体に広がる美術館

若い世代の期待を集約
→今後の美術館運営に反映

県職員副業チャレンジ推進対策

許可基準の制定

職員の副業を営利を伴うものであっても認める**具体的な許可基準を新たに制定**

【許可基準の内容】

- ・原則、週8時間／1か月30時間／勤務のある日は1日あたり3時間以内の活動従事
- ・職員や所属との間に密接な利害関係がなく、公平、公正に公務が遂行できるものに限定
- ・個人の特技等を活かした自営副業も許可（例：スポーツインストラクター・書道教室）
- ・営利企業での副業は、広く不特定多数の利益の増進に寄与するものや人材不足により社会的な需要が高いものなど、公益性の高い活動について許可

副業紹介の仕組みの構築

職員が活動を探せるよう「**副業紹介データベース**」を新たに作成

【紹介する活動の想定】

らっきょうの植付けなど県内農家での農作業従事、NPO法人での経理等事務 など

副業しやすい職場づくり・推進体制の構築

- ・副業に積極的に従事したい職員による「**とっとり志縁隊**」を結成
- ・地域貢献度や新規性の高い活動を行った**職員を表彰する制度を創設**
- ・ノー残業デー終業時に**庁内放送で副業推進の呼びかけ**
- ・副業時に**利用可能な制度の紹介**（例：ふるさと応援休暇、フレックスタイム制など）
- ・副業相談対応のための**AIチャットボットを導入**

鳥縁企業フェア（8/27～9/3）

●県内に支店・支社のある5社と連携して、リレー形式の物産フェアを**梨の旬の時期**に首都圏で開催

<参加企業> ①みずほ銀行 ②清水建設 ③NTTドコモ
④ANAグループ（ANA、ANAあきんど） ⑤日本生命



8/27 オープニングセレモニー みずほ本店

<県として初めて導入する現地決済型ふるさと納税が本フェアからスタート>

※新橋アンテナショップでも利用可能

みずほ銀行との包括連携協定(8/27)

●みずほ銀行と包括連携協定を締結し、県産品PRなどで連携

本県が**メガバンク**と包括連携協定を締結するのは**初**。

みずほ銀行と都道府県の包括連携協定締結は**中国地方**では**初**。

主な協定項目：産業振興、観光振興・県産品販売促進、金融リテラシーの向上 等

【鳥取大学】教員養成に係る「協議体」キックオフ会議(9/1)

地域教員希望枠(地域教育選修)など新たな教育プログラムの具体化に向け、**関係者が連携・協働する協議体を設置**

【構成】 大学、県、私学協会

【協議題】… 教育プログラムの具体化

・進捗状況報告、具体化に向けた議論

※大学の地域調査に関わる取組と、高校の「総合的な探究の時間」との共同実施（協働探究プロジェクト）

※地域教員希望枠の対象となる高校1、2年生を対象に、鳥大学生・教員、鳥大出身の現役教員との懇談の場をセット（教職カフェ）など

・高大接続事業を担うコーディネーター（実務家教員）など事業推進に向けた人材雇用 等

東京2025デフリンピック 全国キャラバンinとっとり (8/20~25)

「デフリンピック応援キャラバンカー」がいよいよ鳥取県へ到着！
＜6/15盛岡でスタート＞

- ・デフリンピックのPR、本県出身日本代表選手への応援寄書き
⇒ **機運醸成**を図るとともに、デフリンピックを応援！

■県内巡回日程

20日 広島県から⇒日南町→日野町→江府町→伯耆町→南部町
21日 米子市→境港市→日吉津村→大山町→琴浦町→北栄町
22日 三朝町→倉吉市→湯梨浜町→鳥取県庁→鳥取市
23日 デフスポーツ&デフリンピックイベント(鳥取駅前バード・ハット)
25日 岩美町→鳥取聾学校→八頭町→若桜町→智頭町⇒岡山県へ



デフスポーツ&デフリンピックイベントinとっとり @バード・ハット (8/23)

デフリンピック・デフスポーツの魅力発信

- ・VR体験、デフスポーツ体験
- ・本県出身の日本代表選手へのエール (3選手登壇)
- ・北澤豪氏トークショー (東京2025デフサッカー スペシャルサポーター)

本県出身デフ日本代表選手

前島博之選手 (ゴルフ)、中村洋三選手 (ボウリング)
小林優太選手 (ハンドボール)、佐々木昂選手 (陸上)



東京2025デフリンピック
(11/15~26、東京体育館ほか)

ジャマイカ代表選手団事前キャンプ

「東京2025世界陸上」に向けた
ジャマイカ代表選手団事前キャンプ



9/1 (月) ~ 11 (木) ヤマトスポーツパーク陸上競技場

■2015年以来3度目

80名以上のジャマイカ代表選手団が来県予定！

＜主な出場選手＞

★**キシーン・トンプソン** (男子100m)
世界ランク1位！今季世界最高の9.75を記録！



★**シェリー・アン・フレイザープライス** (女子100m)
オリンピック通算3個、世界陸上通算10個の金。陸上界の女王！



★**シェリカ・ジャクソン** (女子100m)
東京オリンピック銅メダリストのレジェンドスプリンター！

東京2025世界陸上競技選手権大会へ
(9/13~21、東京国立競技場)

■キャンプ期間中にイベントを開催

9/6(土) 公開練習 & サイン会、アスリートクリニック

9/7(日) 公開練習 & サイン会

レゲエや食を楽しめる「とっとりジャマイカフェス」



東郷湖羽合臨海公園日本海エリアのPark-PFI・指定管理の候補者を選定

▶ 山陰初となるPark-PFIを東郷湖羽合臨海公園日本海エリアで導入し、公園を活性化

Park-PFIと指定管理を一体的に実施する候補者を審査会（8/5）で選定 ※ 9月議会で協議

■ 候補者名 中一&スマイルカンパニー株式会社

【事業期間】

令和7年11月から令和27年3月まで（19年5か月）

【事業内容】

- ・自然環境を活かしRVパークやキャンプ場を整備・運営
- ・星空観察デッキや東屋の整備
- ・サイクルイベント、星空観察会の開催等

※施設整備については事業者が先行投資により実施



※写真はイメージ。Park-PFI施設の完成は令和8年春を予定。

燕趙園開園30周年

▶ 燕趙園開園30周年記念式典を開催

燕趙園は鳥取県と中国河北省の友好のシンボルとして平成7年7月に開園し30周年

- 8/30（土）に30周年記念式典
- 30周年記念スタンプを設置

- 8/30～9/12には、動物の皮を使った人形による中国影絵“皮影戲(ピーインシー)”など、河北省ゆかりの文化を展示する「河北省唐山影絵展」を開催

▶ 燕趙園の入園料無料化試行中（令和6年度～令和7年度に4回）

- 利用促進、地域活性化の方策としてR6.5.16～7.15、R6.12.1～R7.1.31、R7.5.16～7.15に3回実施済 ※ 4回目は12/1～1/31に実施予定
- 4回の試行結果を踏まえ、燕趙園の今後の在り方を有識者等を交えて検討



中国影絵“皮影戲”



観光入込客数（令和6年観光客入込動態調査結果）

令和6年の観光入込客数・宿泊者数ともに前年を上回った

- ・国際定期便（韓国・香港）の再開、台湾チャーター便の就航等
- ・水木しげる記念館のリニューアルオープン、ねんりんピック開催等

- ・観光入込客数(実人数)：9,830千人（前年比+135千人（+1.4%））
- ・観光入込客数(延人数)：19,825千人（前年比+1,628千人（+8.9%））
- ・宿泊者数（実人数）：2,160千人（前年比+297千人（+15.9%））
- ・外国人宿泊者数（延人数）：118千人（前年比+47千人（+66.4%））

大阪・関西万博で「食パラダイス鳥取県」の魅力発信

万博会場内ORA外食パビリオン「宴」に「食パラダイス鳥取県」食体験ブースを出店します

夢の饗宴！特産品を「食パラダイス鳥取県」ブースで！

鳥取県を代表する「梨」、「鳥取和牛」などを有名店、シェフがメニュー化弁当やスイーツなどをテイクアウト販売する

◆9/1～9/7 ORA 1階にて

- ①県産2種の梨パフェ（「京橋千足屋」プロデュース）
- ②鳥取和牛の煮込みハンバーグ弁当
（「アントル ヌー」高山英紀シェフプロデュース）
- ③地元の逸品

砂プリン(Totto PURIN)、二十世紀梨チューハイ(林兼太郎商店)ほか



県産ブドウのワインと県特産品をペアリング！

鳥取県の気候風土で育ったブドウで醸造されたワイン紹介とドライフルーツ、板わかめなどをペアリングでPR

◆8/28～9/12 ORA 2階にて

◆県産ワイン及び県産品等のPR販売

各ワイナリーの醸造家が語るワイン造りなど

（ワインと加工品のペアリング体験）

※1階ブースでメニューとしても提供

◆出店 北条ワイン醸造所
兎ッ兎ワイナリー
倉吉ワイナリー
大山ワイナリー



世界湖沼の日の集い -水辺から未来へ- (8/27)

○国連が昨年「世界湖沼の日」を制定(8/27)

<湖沼の重要性> ・美しい景観と豊かな生態系の享受 ・人々の交流、安らぎとなる場 ・観光資源や漁業資源で地域活性化

○今年が中海・宍道湖がラムサール条約湿地登録20周年を迎えることから、島根県と連携して米子水鳥公園でイベントを開催(世界湖沼の日の制定を国連などに提唱してきた滋賀県とオンライン中継)

(1)鳥取・島根・滋賀3県知事によるWeb対談(世界湖沼の日PRと湖沼保全推進の共同声明発表)

(2)子どもラムサールクラブ(米子市)、松徳学院中学校・高等学校(松江市)、米子水鳥公園による活動発表

新型コロナ・百日咳に注意！

【新型コロナ】[8/4~10] 全県4.03人 東部3.50人 中部6.33人 西部3.36人

・新規患者数(全県)は6月下旬から6週連続で増加

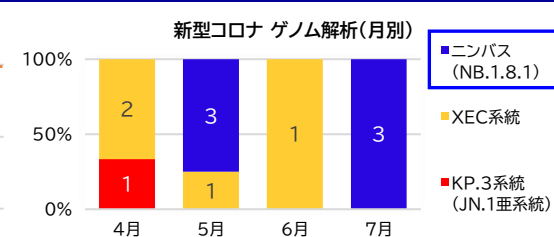
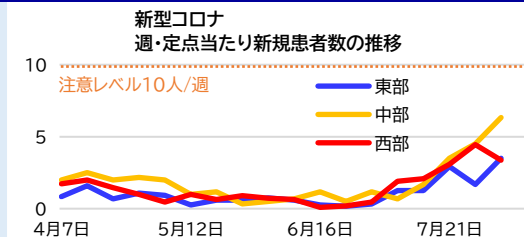
・お盆期間等の人の往来増加により、今後患者数が増加する傾向

・オミクロン株が流行中 ※本県では5月、7月に、「ニンバス(NB.1.8.1)」を確認

【百日咳】[8/4~10] 全県15人 東部9人 中部2人 西部4人

・昨年夏以降、小中学生を中心に流行継続中

発熱、咽頭痛、せき等の症状がある場合は、事前にかかりつけ医に連絡の上、早めに受診し医師の指示に従い治療しましょう



9/1 ベニズワイガニ漁、沖合底びき網漁 解禁

◇ベニズワイガニ漁

境港はベニズワイガニ水揚げ量日本一

初競り 境港

9月6日または9月8日予定



◇沖合底びき網漁

ノドグロ、ハタハタ等

初競り 境港、網代、賀露

9月初め予定



沖合底びき網漁船 第3生洋丸(賀露)
(R7.8.2竣工、今漁期に初水揚げ予定)

鳥取二十世紀梨等の販売開始

【なつひめ】平均糖度 11.8度 重量 344.7g

8/19(火)初販売 小玉ながら外観よく、令和史上最高糖度

【新甘泉】平均糖度 13.6度 重量 426.0g

8/21(木)初販売 小玉傾向だが、糖度上々

【二十世紀梨】

8月下旬販売開始予定 平年並み～やや遅い生育



◆鳥取二十世紀梨初販売セレモニー(8月下旬開催予定)

大阪中央卸売市場・東京都中央卸売市場大田市場

◆梨クレーンゲーム「梨づかみ」とっとりフェス(大阪・関西万博)

なつひめ(8/19~8/21)、新甘泉(8/22~8/25)をPR

